

今年で 中核市移行20年!

今年の4月1日に船橋市は中核市に移行して20年を迎えます。平成15(2003)年に中核市になったことで、保健衛生業務を担う市保健所が新たにオープンしたほか、福祉・環境など、さまざまな分野の業務約2500項目を県から引き継ぎました。今号では、正月特集として、船橋の節目の出来事や懐かしい風景をクイズ形式でご紹介します。昔の船橋を感じながら、ぜひ家族で昔の話に花を咲かせてください!



保健所がオープン



千葉県初の中核市が誕生! (写真左は藤代孝七前市長)



施設名は、英語の「春・夏・秋・冬・雪」の頭文字をとって付けられました。カタカナで答えてね!

8 船橋市の謎



昭和23(1948)年撮影

今は公園になっています。その名前を答えてね!

5 船橋市の謎



昭和97(1962)年撮影

右に進むと松が丘・古和釜方面です。

9 船橋市の謎



写真は昭和53(1978)年に開催された産業まつり(現:ふなばし市民まつり)の様子です。

6 船橋市の謎



昭和30(1955)年撮影

観客は何に見入っているのかな?

3 船橋市の謎



これは市制施行の祝賀行事として行われた仮装行列の1枚。市制施行の当日は新聞社の飛行機が空から祝賀のピラをまき、まちが喜びに沸きました。

平成29(2017)年に市制施行80周年を迎えました。

1 船橋市が誕生したのはいつでしょう?



平成5(1989)年撮影

踏切が上がるのを待つ人でふれています。

10 船橋市の謎



昭和62(1987)年撮影

ここを拡張して造られた公園は現在も大人気! 当時の名前を答えてね!

7 船橋市の謎



昭和30(1955)年に大衆温泉としてオープン。"日本一大きい、日本一面白い、日本一安い、温泉と海と娯楽の大デパート"をテーマに、温泉施設や遊園地、プール、劇場、ゴルフ場、ボウリング場、アイススケート場、サーキット場、遊覧船など、広大な敷地にさまざまな娯楽場がありました。

4 船橋ヘルスセンターにオープンしたビーチの名は何でしょう?



汗一平 風さやか

この宣言に伴い、公募でシンボルマーク"汗一平"が誕生! そして宣言10周年を記念し、ガールフレンドの"風さやか"が誕生しました。市からの封筒などで一度は目にしたことありますよね!

2 「スポーツ健康都市」を宣言したのはいつでしょう?

みんなで挑戦! 船橋クイズ

↓答えが見えないように下線部を折ってから始めよう★

10 答え:京成船橋駅
「開かずの踏切」として有名だった京成船橋駅前。朝のラッシュ時には1時間に最大30分も遮断されることがありました。安全性と利便性を向上させるために行った高架化は、20年以上の歳月を費やし、平成18(2006)年に完了しました。

9 答え:高根木戸駅
左に進むと高根台団地に通じます。舗装され、周りには住宅や商業施設が建っていますが、面影を感じますね。

8 答え:ザウス
平成5(1993)~14(2002)年まで営業していた屋内スキー場。開業当時は世界最大の通年型人工スキー場として、季節を問わずスキーやスノーボードを楽しむ人々で賑わいました。

5 答え:天沼弁天池公園
埋め立てられる前は、名前のとおり「沼」で、釣りが楽しめる場所でした。昭和41(1966)年に現在の天沼弁天池公園(本町7)が開園し、季節が感じられる市民の憩いの場として親しまれています。また、さまざまなイベント会場としても利用されています。

7 答え:ワンパク王国
昭和62(1987)年、市制施行50周年を記念してワンパク王国(現:ふなばしアンデルセン公園ワンパク王国ゾーン)が開園。

6 答え:津田沼駅
歩道橋ができる前のJR津田沼駅(北口)です。奥に見えるパルコ津田沼店は、昭和52(1977)年にオープンして以来、市民の身近な買い物スポットとして長年親しまれてきたが、2月28日に幕を下ろします。

4 答え:ゴールデンビーチ
昭和40(1965)年に船橋ヘルスセンター開場10周年を記念し、ゴールデンビーチがオープン。なんと一度に10万人が泳げる巨大な海水プールでした。現在、船橋ヘルスセンターの跡地には、ららぽーとTOKYO-BAYやIKEA Tokyo-Bayがあり、姿こそ大きく変わりましたが、今もなお、多くの家族連れで賑わうエリアとなっています。

3 答え:中山競馬場
日本で唯一、市内に競馬場が2つある船橋市。写真の中山競馬場(古作1)は、有馬記念など大規模なレースが行われるJRA(日本中央競馬会)を代表する競馬場です。写真は中山大障害の日に撮影されたもので、人で埋め尽くされています! もう1つの船橋競馬場(若松1)は、現在レースを開催しながら、さらに幅広い世代で楽しめる施設に生まれ変わるため大規模改修もっており、2024年春に完成予定です。

2 答え:昭和12(1937)年
船橋町・葛飾町・八栄村・法典村・塚田村が合併し誕生した船橋市の当時の人口は4万2981人でした。その後、昭和28(1953)年に二宮町を、その翌年に豊富村を合併。沿岸部の埋め立ても進み、現在の64万人を超える都市へと発展しました。

1 答え:昭和58(1983)年
今年の10月10日でスポーツ健康都市宣言から40年がたちます。この宣言では、市民の誰もがスポーツに親しみ、健康で豊かな心とからだを育て、地域でのふれあいを大切にすめる明るいまちづくりを目指しています。

答え・詳しく!
船橋市役所
▲「船橋町役場」から「船橋市役所」に表札が掛け替えられました
▲本町にあった昭和12年当時の市役所

いくつ正解しましたか。これからの船橋がどんなまちになるか楽しみです。船橋の歴史に興味を持った人は、ぜひ市ホームページ(右コード)から80周年記念誌(平成29年発行)をご覧ください!

